

## シンポジウム「子どもの環境保健 - 環境リスクから子どもを守る - 」

1. 主 催 日本学術会議健康・生活科学委員会・環境学委員会合同  
環境リスク分科会
2. 共 催 日本公衆衛生学会
3. 日 時 平成19年10月26日(金) 10:30～12:30
4. 場 所 愛媛県民文化会館 (松山市道後町2丁目5番1号)
5. 次 第

### 開催趣旨

現代社会に住む我々は、多くの環境リスクに曝されている。特に石油化学の発展以後多くの化学物質にとり囲まれ、カネミ油症事件、ダイオキシン類、いわゆる環境ホルモンといった問題が次々と起こり、健康リスクに対する国民の不安が高まっている。これらの問題は、大人だけではなく、次世代に対する影響、脳や免疫機能などの発達段階にある子供にとっては大いなる脅威となっている。1994年の子供の環境保健に関する、いわゆるマイアミ宣言以来、しばしば子供の環境保健の問題はサミットの議題としても取り上げられ、わが国でもようやく、環境省を中心として本格的な調査・研究が開始されようとしている。これまでわが国では、子供特有の個々の疾患や事象についての研究は多くあるが、「子供の環境保健」を意識した調査研究が行われていたとは言いがたい。

そこで本シンポジウムでは、主に公衆衛生の専門家、行政、市民を対象として、子供に特有の脆弱性を理解するとともに、子供の置かれている化学物質を中心とした環境リスクの現状と、今後長期にわたるコホート研究の重要性などを議論することを目的としている。

10:30～10:35 開会挨拶

實成 文彦(香川大学医学部人間社会環境医学講座衛生・公衆衛生学教室 教授、日本学術会議連携会員)

### 講演

座長：内山 巖雄(京都大学大学院教授、日本学術会議連携会員、  
日本学術会議健康・生活科学委員会・環境学  
委員会合同 環境リスク分科会委員長)

未 定(日本公衆衛生学会)

10:35 ~ 11:05

- (1) 「子供のバースコホート研究について（仮題）」

岸 玲子（北海道大学大学院医学研究科予防医学講座公衆衛生学分  
野教授，日本学術会議会員，日本学術会議健康・生活  
科学委員会パブリックヘルス科学分科会委員長）

11:05 ~ 11:35

- (2) 「子供の重金属汚染の現状について（仮題）」

村田 勝敬（秋田大学医学科社会環境医学講座教授，日本学術会議  
連携会員）

11:35 ~ 12:05

- (3) 「子供の環境保健に関する環境省の取り組みについて」

北窓 隆子（環境省環境保健部リスク評価室長）

12:05 ~ 12:25 質疑・応答

12:25 ~ 12:30 閉会挨拶

未 定（日本学術会議連携会員）

**【お問い合わせ先】**

第66回日本公衆衛生学会総会学術部会事務局

愛媛大学大学院医学系研究科医療環境情報解析学講座内

〒791-0295 愛媛県東温市志津川 TEL (089)960-5283 FAX (089)960-5284